

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 3258 号	氏名	山口 天士
論文審査担当者	主査 岩井 信市 教授 副査 川添 和義 教授 副査 藤田 健一 教授		
論文題名： Factors predicting disease-modifying antirheumatic drugs addition after initial methotrexate monotherapy in patients with rheumatoid arthritis (関節リウマチ患者における初回メトトレキサート単剤療法後の疾患修飾性抗リウマチ薬の追加を予測する因子の検討) 掲載雑誌名：Clinical Rheumatology 本論文は、関節リウマチ (RA) 患者における、メトトレキサート (MTX) 単剤治療後の疾患修飾抗リウマチ薬 (DMARDs) の追加を予測する因子を明らかにした物である。 本研究は昭和大学病院で RA と診断され、MTX 単剤療法を開始した患者 311 名を対象とし、Retrospective Cohort Study を行われた。 結果より、解析対象は 233 名のうち 65 名 (27.9%) に DMARDs が追加された。多変量解析により、腫脹 28 関節数 (SJC28) とグルココルチコイド (GC) 関節腔内注射歴が DMARDs 追加の独立した予測因子として抽出された。 本研究により、抽出された SJC28 と GC 関節腔内注射歴は、初回 MTX 単剤療法後に DMARDs 追加が必要となる RA 患者を選別する重要な指標になる可能性が明らかにされた。 これらの事は、新知見であり、RA 患者にとって福音となる可能性がある。従って、本論文は本学大学院学位論文 (博士) 審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。			

(主査が記載、500 字以内)